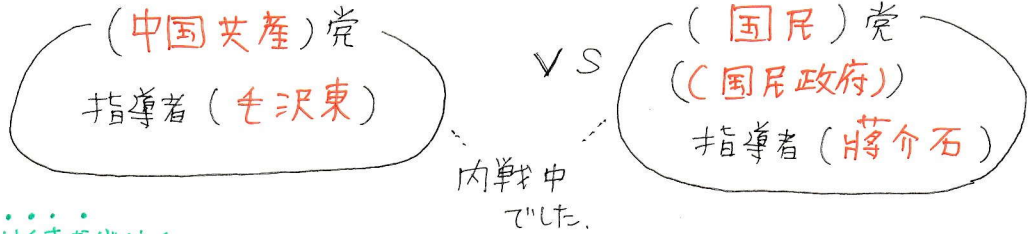


4. 日中全面戦争と戦時体制

満州事変後 中国では...



いさながひく

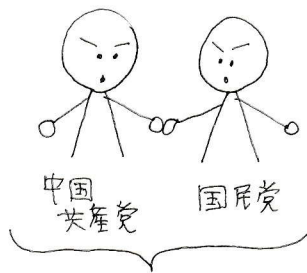
(1937)年 北京郊外の(盧溝橋)で、日本軍と中国軍が衝突する事件が起きました。

盧溝橋で演習していた日本軍が、後方の陣地から中国軍の射撃を受けたことかきかけで、日本軍と中国軍が単闘状態になりました

→ 中国共産党が引き起こしたという説もあるが真相は不明。



4日後には 現地で停戦協定が締結されたが、日本政府は 中国への派兵を決めました。



国民党と中国共産党は 共同して日本軍と単闘組織 (抗日民族統一戦線) を結成し、日本軍と単闘した。

こうして、宣戦布告のないまま、全面的な単闘戦争が始まりました。

組織 (抗日民族統一戦線)

「支那事変」とも呼ばれていた

日中戦争

という。